別　紙

【県発注建設工事、資格停止の運用状況等について】

特になし。

【抽出事案に関する質疑応答】

１　公共総合治水対策特定河川事業　境川上戸排水機場（仮称）ポンプ設備工事

特になし。

２　交通信号機新設等工事

Ｑ．指名選定の際、対象業者２８社の中から１６社を選定したとのことだが、どのような方針で指名選定したのか。
Ａ．工事場所が可児郡御嵩町（中濃地域）であるため、中濃地域を優先とした指名選定をしている。その他に予定価格に相応する平均工事高を有する者のうち、格付評点の高い者との条件を設定した。その結果、１６社が条件を満たしたため全員を指名選定した。
Ｑ．今回の工事の落札率は何パーセントか。
Ａ．８３．８５％である。
Ｑ．割と低い価格で落札しているが、低く落札されたことについて何か考えられることはあるか。
Ａ．この工事の他の入札においても低い価格で入札されており、全体的に低い傾向にある。
Ｑ．交通信号機の集中制御化などのコントロールは高度な技術を必要とするのではと思うが、工事実績がない新規参入の業者でも対応できるのか。
Ａ．業者によっては、工事の中で対応できない部分について下請等で対応している。

３　東海自然歩道菩提公衆トイレ建築工事

Ｑ．建物の構造などは、環境省からある程度指定されるのか。
Ａ．１／３が環境省の補助であるため、主管課である自然環境森林室と建物の形態や仕様、色などを調整し、案が決まった段階で環境省と協議を行うことになる。環境省から了解を得られないと交付申請が出来ない。その後、建物の発注を行うことになる。
Ｑ．この規模の建物工事の入札の場合、落札率は９７％位になるのか。
Ａ．公衆トイレなどの建築工事は、設備的にレベルが高く、小さい面積でも技術力を有する工事であるため、通常の建物とは異なり価格は高くなる。
Ｑ．予定価格は積み上げで積算しているのだから、通常の建物と異なるということはないのではないか。
Ａ．水回りの設備などは非常にコストがかかり、また技術力も必要である。

４　公共都市公園事業　平成記念公園

Ｑ．平成記念公園のうち、日本昭和村はどこに位置するのか。

Ａ．（位置図で説明）
Ｑ．この工事は県道３４２号線と平成記念公園をアプローチする工事なのか。
Ａ．東海環状自動車道から平成記念公園へのアクセス道路である。東海環状自動車道を降りなくても直接、平成記念公園へ行くことが出来るようになる。
Ｑ．技術的には普通の道路舗装工事と同程度であると考えて良いのか。
Ａ．一般の道路舗装と同じ規格であり、技術的にも同じである。
Ｑ．落札率が９６．６２％となっており、また入札価格が各業者とも近いところにある。もう少し入札価格が開くのではないかと思うのだが。
Ａ．舗装工事はこのような落札率が多い。
Ｑ．本工事箇所は、連結路部分において県施工と国・ＪＨ施工とに分かれているが、このような場合の積算単価は整合が取れているのか。
Ａ．基本的に積算の方法などは国に準拠した方法を取っている。工事規模などが異なるため、積算単価に若干の違いがあると考えられる。
Ｑ．国は予定価格を公表しているのか。
Ａ．公表していない。
Ｑ．国・ＪＨの工事の進捗状況はどうなっているか。
Ａ．国・ＪＨ、県とも３月１９日の開通に間に合うように施工しているところである。
Ｑ．国・ＪＨが施工する工事の入札に今回、県で指名した業者は加わっているか。
Ａ．東海環状自動車道全体では指名されている業者もある。
Ｑ．この工事に該当するＡ等級業者はもっとたくさんあると考えられるが、その中からどのように１５社を指名選定したのか。
Ａ．先ず、当該工事に対する地理的条件を考慮し、可茂建設事務所管内のＡ等級業者７社を優先的に指名した。次に隣接した美濃、多治見、恵那から指名し、岐阜、大垣からそれぞれ客観点数の比較的高い業者を選定し１５社とした。

５　全国植樹祭式典会場造成

Ｑ．全体事業費はいくらか。
Ａ．会場整備関係で４億６千７百万円である。
Ｑ．会場跡地はどのように利用するのか。
Ａ．下呂市の土地であり、最終的にどのように利用するのかについて昨年より下呂市に投げかけているところであるが、現在も検討中で明確な回答をもらっていない。想定ではあるが、憩いの林間広場になるのではないかと考えている。
また、ほとんどの施設（建物・ベンチ等）は仮設であり原則取り壊す。下呂市が施設を残してほしいということであれば、検討していく必要がある。
Ｑ．全国植樹祭式典会場の正確な位置を教えてほしい。
Ａ．（計画平面図で説明）
Ｑ．会場が南飛騨健康増進センター内となっているが、南飛騨国際健康保養地構想との関係はどのようになっているのか。
Ａ．南飛騨健康増進センターそのものが南飛騨国際健康保養地構想の中核施設である。全国植樹祭の開催にあたり、森林内を散策することが健康に良いという森林セラピーを全国に発信していきたい。また、参加者にキハダ、ホウノキなどの薬木の記念植樹を行ってもらう。

Ｑ．新聞によると新知事の政策総点検で骨格予算の中から南飛騨保養地構想が見送られたと聞いているが。
Ａ．平成１７年度当初予算編成で下呂温泉関係の医療部門（南飛騨総合医療センター整備事業）が見直しの対象となっていると聞いている。萩原町四美地区（南飛騨健康増進センター）については既にオープンしており、今後さらに活用されていく施設であると理解している。
Ｑ．全国植樹祭式典会場の構造物の殆どは間伐材を利用するのか。
Ａ．そうである。

６　公共道路災害復旧事業工事

Ｑ．随意契約の場合、予定価格は公表するのか。
Ａ．随意契約の場合、予定価格は公表していない。
Ｑ．業者の見積価格が高ければ契約しないということもあるのか。
Ａ．そうである。
Ｑ．(業)Ｈ・Ｃ建設の等級（土木一式工事）はどうなっているか。
Ａ．Ａ等級業者である。
Ｑ．落札した後でも落札率は公表できないのか。
Ａ．予定価格が落札後も非公表であるため、落札率も公表していないということになる。
Ｑ．随意契約の場合、見積書を業者から提出してもらい、県の予定価格より低い見積りであれば契約することになるが、予定価格より高い見積りを提出した場合はどうなるのか。
Ａ．再度、見積書を提出してもらうことになる。
Ｑ．再度の見積りが予定価格より高ければ契約しないということもあるということか。
Ａ．そうである。
Ｑ．応急仮工事で仮復旧した道路などは、どの程度の期間利用するのか。
Ａ．現場によって様々である。本施工箇所については、応急仮工事で施工した道路を工事用道路として利用することから長期間利用することになる。通常の災害復旧事業は３年間で完了することとなっているので３年以内の利用ということになる。なお、特殊な場合は５年になる。